



○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○50  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
5 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○55  
○○○○○○○○○○○○○

4. おわりに

10 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○60  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
15 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○65  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

注

- 1)ここでの「生活」とは、○○○の意味で用いる。  
20 詳しくは小泉（1993:226）を参照。

引用・参考文献

- 1)横沢三男・村野圭市「地域産業の活性化条件—八丈島の伝統的地場産業を中心として—」農村生活研究, 第 31 巻第 3 号, 1987 年, 19~25 頁, 20~21 頁 75
- 2)小泉浩郎「農村生活研究の新しい視角」川嶋良一監修・日本農村生活研究会編『農村生活研究の軌道と展望』筑波書房, 1993 年, 225~231 頁, 226 頁 30
- 3)Yasuda, Saburo, A Methodological Inquiry into Mobility, American Sociological Review 29, 1964:13-23 80

35 (201\*年\*月\*日 受理)・・編集委員会が記入 85

<原稿作成上の注意事項>

- 40 1. 原稿の体裁  
○原稿（審査用原稿）はワープロで作成し、A4 用紙片面を用い、本文・図・表・写真をレイアウトすること。<sup>90</sup>  
○原稿のマージンは、上下 30mm, 左右 20mm とする。  
45 ○本文は二段組みで、一行あたり 22 文字×43 行とする。<sup>95</sup>  
○本文の読点は「,」、句点は「。」とし、いずれも全角とする。

- 基本フォントは、和文フォントはMS 明朝とし、アルファベットは Century とする。
- 投稿者の氏名、所属は、投稿時および審査途中には記入しないこと。採用が決定し、最終原稿の提出時に記入すること。
- 以上の体裁に従って作成された書式の見本 (MS-Word, PDF) が、学会ホームページに掲載されているので適宜利用されたい。

2. 図表の作成

- 原稿は写真製版であり、刷り上がり時には A4 サイズから B5 サイズに縮小される。図表の作成にあたっては、この縮小率を考慮し、文字や図、写真が鮮明にみえるように作成すること。
- 図表と本文の間は 1 行空け、中央揃えとすること。
- 図表番号とタイトルは MS ゴシック、10.5pt とする。図表の注は 9pt。行間隔(改行幅)を 0.75(3/4)まで詰めてもよい
- 図表は 1 段内か、2 段内に割り付ける。余白が生じてても、そこには文章を記さないこと。

3. 謝辞

- 謝辞を加える場合には、本文と補注・文献の間に記入すること。
- 謝辞は投稿時には記入せず、スペースのみ確保し、採用決定後の最終原稿の提出時に記入すること。

4. 注および引用・参考文献

- 注および引用・参考文献のフォントサイズは 10pt とする。